



2025年6月13日

各 位

会 社 名 株式会社 ユニバンス
代表者名 代表取締役社長 高尾 紀彦
(コード番号7254 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執行役員 藤崎 一
(TEL. 053-576-1311)

中期経営戦略 Vision2030 について

当社は、持続的な成長と中期的な企業価値向上のため、2022年より自動車業界の変革に対応するためにVision2030として『ものづくりを通じたことづくりで社会に貢献する』を目指し、

1. 社会的課題への対応、2. 既存事業の収益力向上、3. 既存事業領域の拡販、4. 新規事業の創造の諸施策に取り組んでまいりました。

この度、これまでの活動の進捗を振り返るとともに、不確実性を増す経営環境や現在の業績を踏まえ、2030年の目標達成の実現性を高めるために、当社グループの進むべき方向を示す中期経営戦略を、改めて Vision2030として本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

当中期経営戦略 Vision2030 は、大きく変化する事業環境を当社グループの成長機会とするために、極めて重要なものと考えております。

記

【中期経営戦略 Vision2030の骨子】

1. ユニバンスの歴史とこれから ～第2の創業『挑戦・失敗・学び・成長』～
2. Vision2030 ものづくりを通じたことづくりで社会に貢献する
～お客さまにソリューションを提案できる企業へ～

目標	新規拡販	営業利益率	総売上高
	300億円	6%	600億円

- 重点活動
- ① 既存事業領域での競争力向上と事業の拡大
 - ② 新規事業の創造
 - ③ 企業基盤の強化

3. 目指す市場領域と地域戦略
4. 企業基盤の強化への取り組み

以上

Vision2030

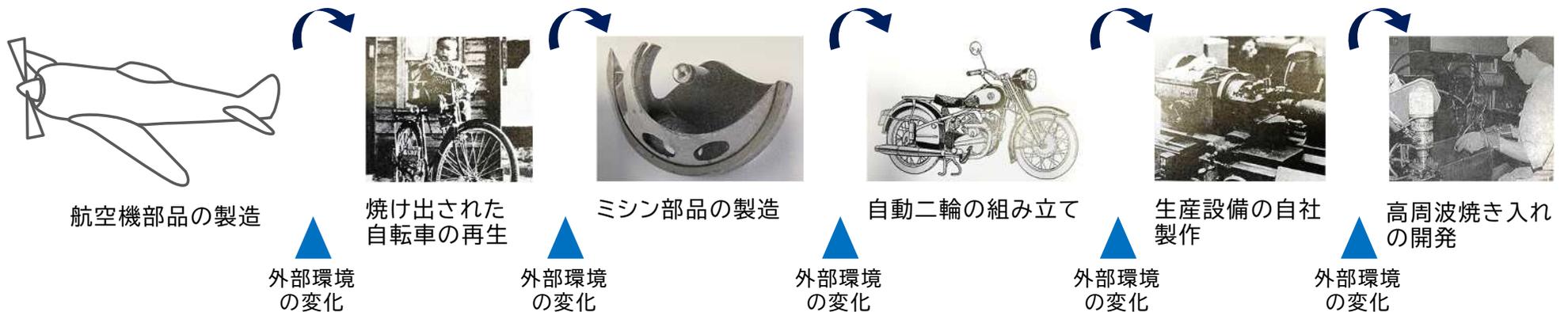
— ユニバンスの変革 —

目次

1. ユニバンスの歴史とこれから
2. Vision2030
3. 目指す市場領域と地域戦略
4. 企業基盤の強化への取り組み

1. ユニバンスの歴史とこれから

ユニバンスは、創業の精神「常に今よりも高きものに」をもとに、失敗を恐れず挑戦を続け、幾度となく変革を起こし成長してきた



しかし、いつしかその精神が失われ、失敗を恐れ、挑戦をしない体質になってしまった

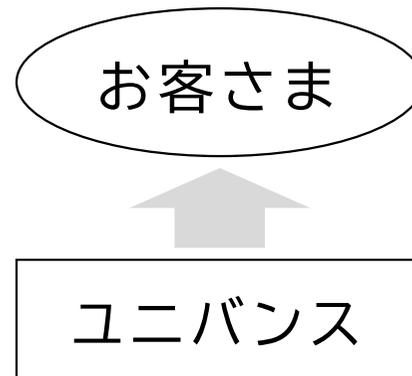
自動車産業の「100年に一度の変革」が加速する今、ここからがユニバンスの第2の創業と考え、再び、**挑戦・失敗・学び**のプロセスを踏み、変革を起こし、今よりも高きものに、さらに**成長していきたい**

2. Vision2030

2. Vision2030

お客さまにソリューションを提案できる企業へ

ものづくりを通じたことづくりで社会に貢献する



- 利己志向(効率重視)からお客さま志向(価値重視)へ
 - ・市場・顧客に対する理解を深める
 - ・課題を発見し解決する力、それを提案する力をつける
- 失敗を恐れる体質から、失敗から学ぶ体質へ
- あきらめず、とことんやる、深耕する

2. Vision2030

外部環境認識

気候変動リスクなどの社会情勢、
労働環境の変化により、事業環境が
大きく変化している

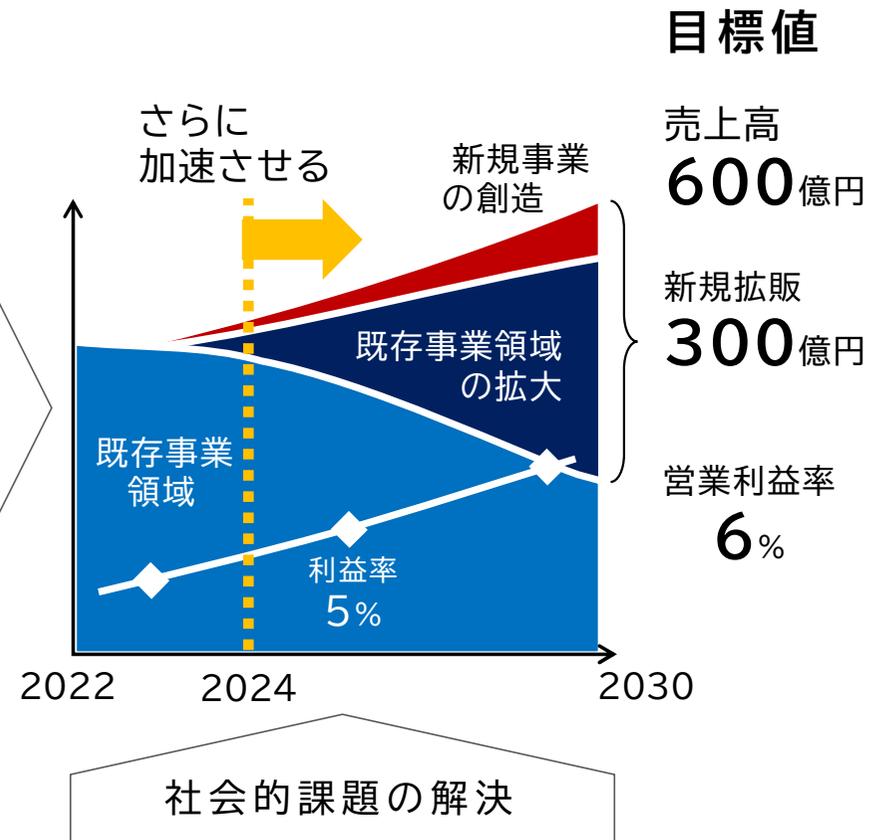
前提条件

自動車電動化により既存事業の
売り上げは2030年に半減すると
想定する

重点活動

- 既存事業領域での競争力向上と
事業の拡大
- 新規事業の創造
- 企業基盤の強化

商品開発力
生産技術力
自律した
拠点経営



3. 目指す市場領域と地域戦略

3-1. 目指す市場領域

既存事業でキャッシュを生み出し、新規市場へと事業を拡大

既存事業で
培った技術

新たな提供
価値の探索



- ① ものづくり競争力を向上
既存資産を徹底的に活用
拠点に適したプロセス設計
- ② お客さま志向の提案型アプローチ
商品・技術開発力を向上し
ソリューションを創り出す
- ③ 潜在ニーズの探索
市場価値の仮説・立案する力、課題
解決力、創造力を磨く

3-2. 地域戦略

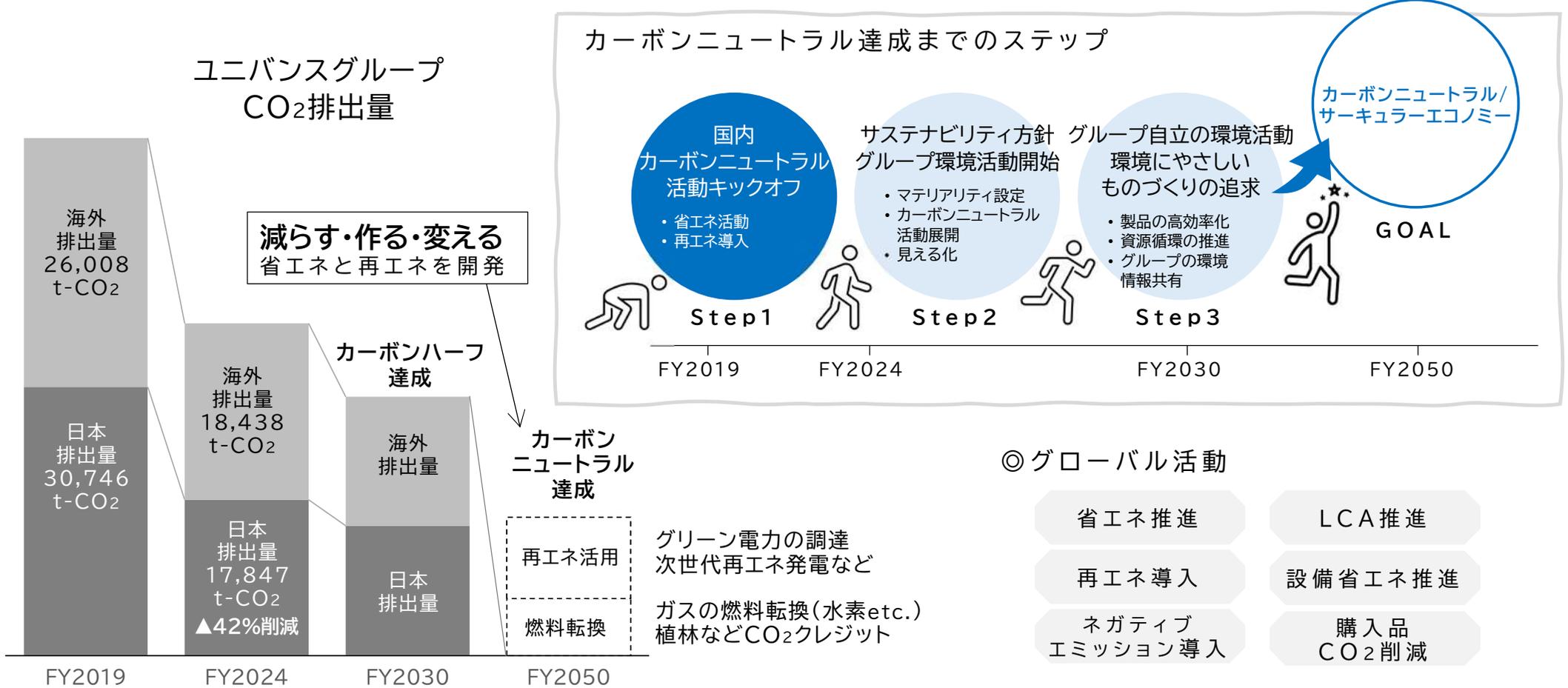
新たな挑戦

地域	オポチュニティ×競争優位
インド	<ul style="list-style-type: none">人口増加と経済発展により成長中の市場(自動車・マイクロモビリティ・農機・建機)に、当社の既存事業モデルや技術と結び付けることで参入する
北米	<ul style="list-style-type: none">ピックアップトラック・SUVの市場シェアを拡大する当社の競争力が優位である大型農業機械事業を拡大する米国関税政策に対し、生産拠点を活用してお客さまの現地調達化へ貢献する
アセアン	<ul style="list-style-type: none">アセアンに進出した中国企業に受け入れられる競争力をつけ、参入する中国企業の入りにくい市場で提供価値の差別化をし、ビジネスを創造する
日本	<ul style="list-style-type: none">今後再編される自動車業界の新たなサプライチェーンに参入するギヤ技術が活かせる電動モビリティ(航空機、船舶、ラストワンマイル)に参入する

4. 企業基盤の強化への取り組み

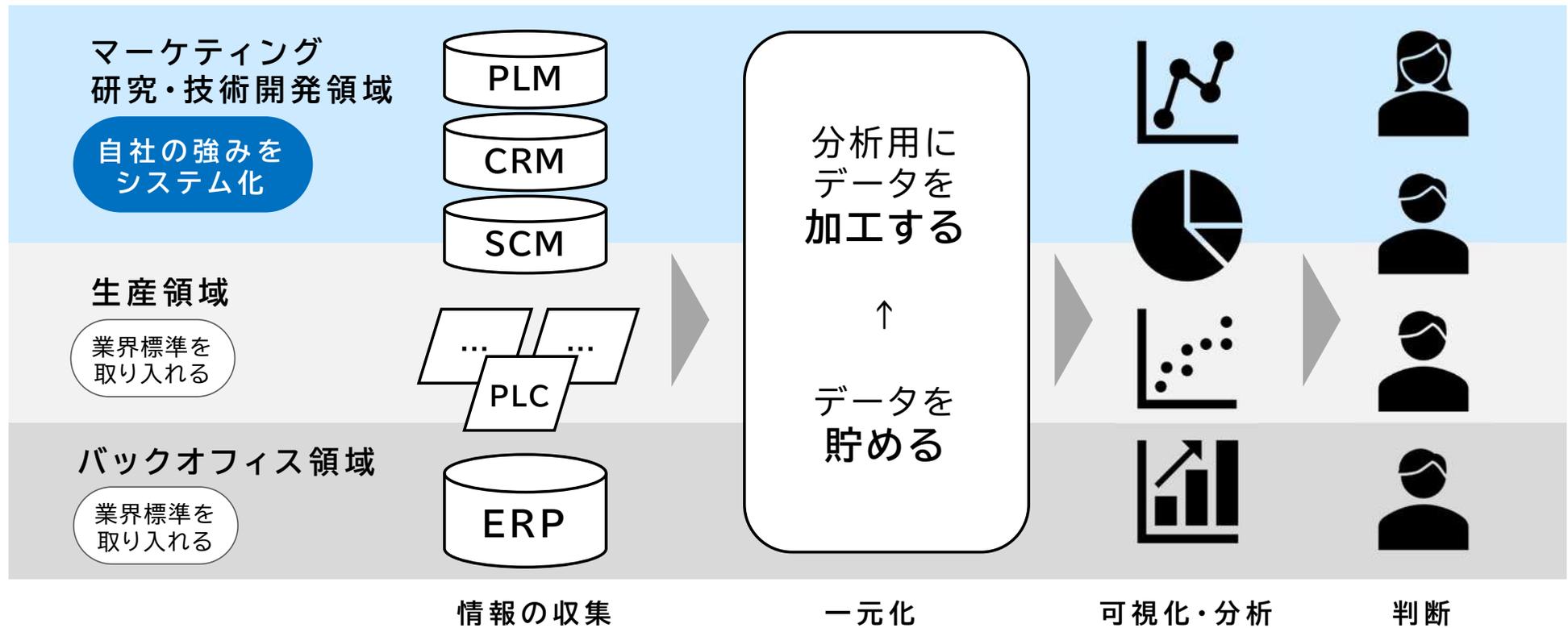
4-1. カーボンニュートラル

2050年度までにユニバンスグループ全体のカーボンニュートラルを達成する



4-2. DX

データドリブン経営の実現



AI活用によりステークホルダーの満足を追求する

4-3. 人事戦略

“管理”の人事から、“従業員の成長の場を提供する”人事へ

会社のあり方の転換

会社は、**業務をこなす場**から
価値を創造する場と再定義し、従業員が
自らのポテンシャルを開放できる“場”へ

挑戦
する場

学習
する場

個が
つながる場

ポテンシャルを引き出す人事制度

採用

挑戦マインドと多様性
を重視した採用へ

活用・育成

個と組織のマッチング
で自律と活躍を後押しする

評価・処遇

変革のための挑戦を
認め・報いる制度に

組織運営

変化に合わせて、**柔軟に**
フラットにつながる組織へ

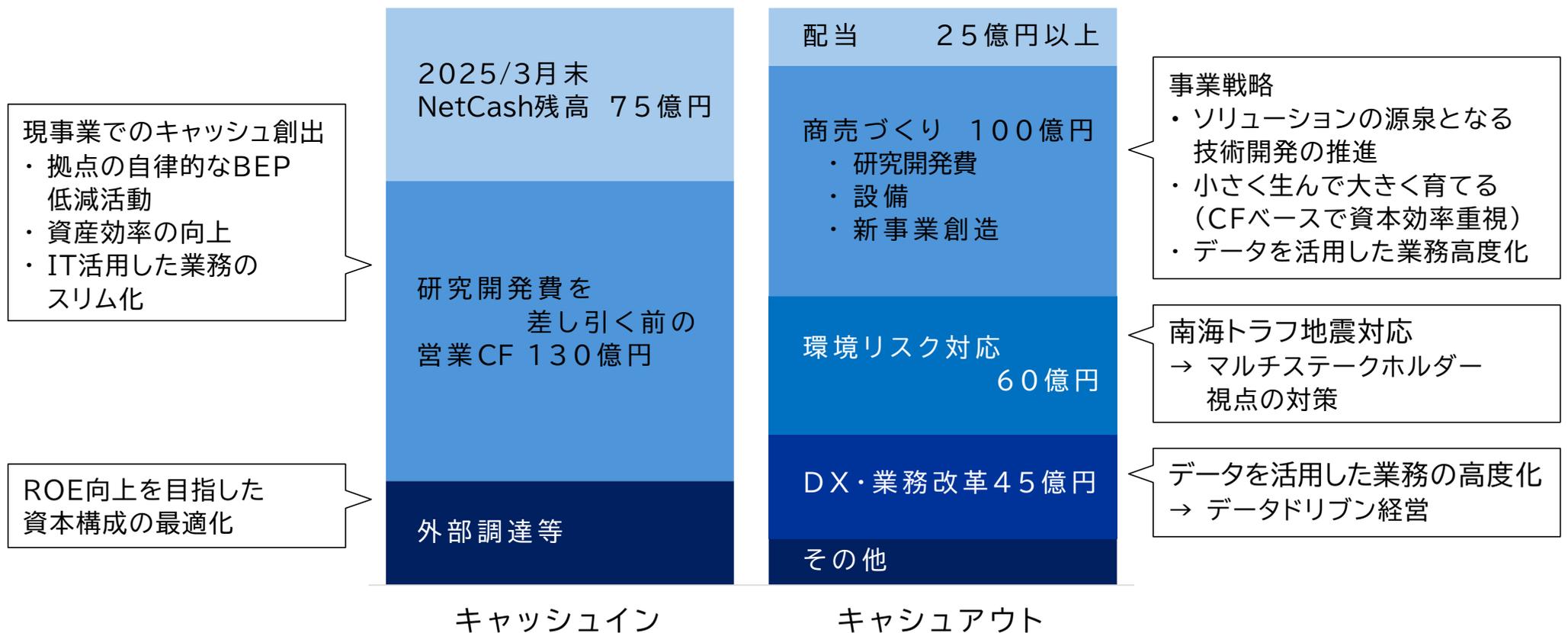
柔軟な働き方 従業員を支えるベース

外部環境や顧客ニーズの変化に立ち向かう**戦う集団**を目指し
従業員が最大限に能力を発揮できる環境に整備する

4-4. 財務戦略

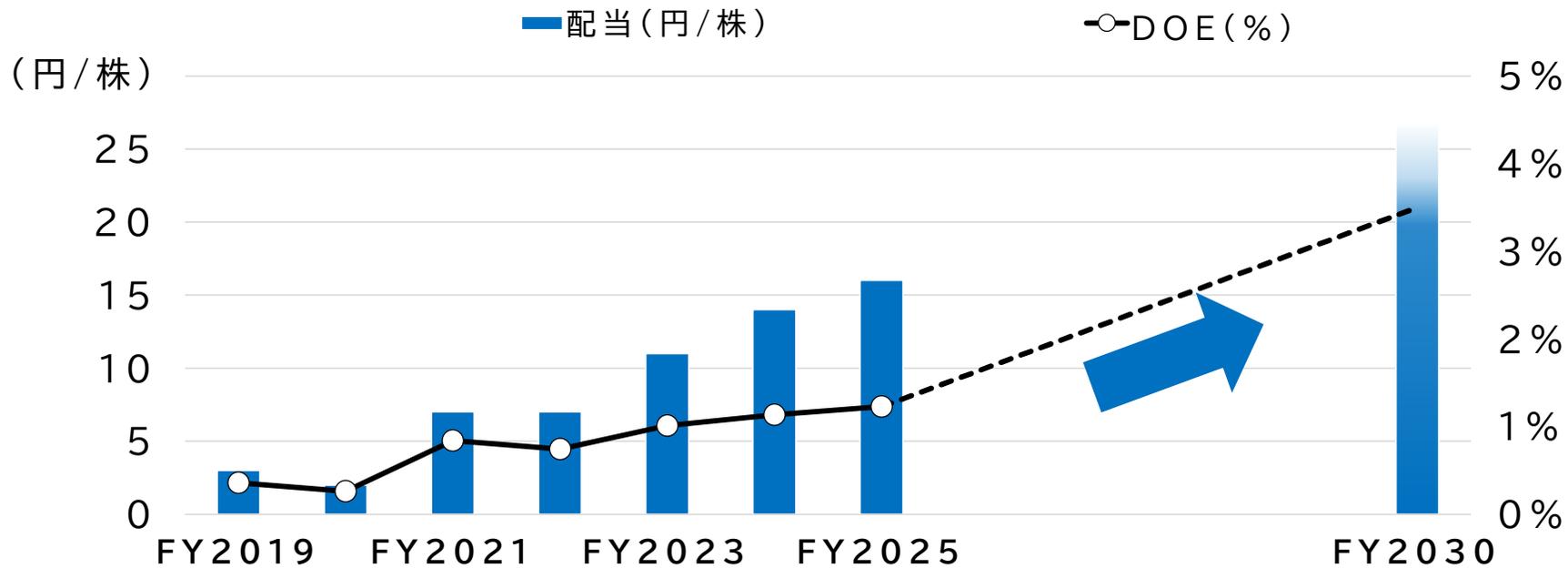
現事業の収益確保と将来への成長投資

Vision2030期間 2025～2030年度 6年間の累計



4-5. 株主還元

DOEを指標とした配当による継続的な還元



儲ける力であるROEの向上をはかり
配当はDOEを指標として継続的に向上していく
(配当性向は参考にモニタリングする)

